第三章　わくわく川あそびポイント
只見川

この章では、只見川流域の、川遊びによく利用されている場所や川に近づきやすくて楽しそうな場所を、「川あそびポイント」として紹介しています。

各ポイントで安全のために特に注意が必要な事項を、次ページ以降では

注

で、表示しています。

川あそびマップ
只見川

川あそびポイント　安全度のめやす

安全度◎	・・・小学校低学年でも危険は少ない
安全度○	・・・小学校低学年にはやや危険
安全度△	・・・小学校低学年には危険

※この安全度は、平常時の河川において大人が同伴した場合の小学校低学年を基準にしています。
　あくまでも目安ですので、子供の体力や当日の水位・天候に応じて適宜危険度を判断してください。

6．北ノ又川
7．中荒沢川

只見川水系での川あそびポイントとして、人気の高い場所です。
まわりにも楽しい場所がたくさん！

6．北ノ又川での川あそび

石抱橋下流の淵　ん～、何かいるかな～

石抱橋付近の浅瀬

白光岩橋から上流　広い河原と浅瀬

7．中荒沢川での川あそび

キャンプ場の少し下流　「銀山平　夏の雪まつり」では
イワナつかみどりで大賑わい

キャンプ場脇

北ノ又川・中荒沢川　案内地図

安全度 ○　・・・小学校低学年にはやや危険
大人が同伴し、子ども達から目を離さないでください。

川あそびは、北ノ又川の白光岩橋から石抱橋までの間、中荒沢川のキャンプ場脇がおすすめ。トイレや駐車場が整備されているので安心。川も浅瀬が多く、平常時では流れも緩やかなので、家族で楽しく遊べる。周辺には様々な見どころがあるので、川あそびと併せて楽しみたい。

「河は眠らない」の碑

北ノ又川をこよなく愛した開高健の碑。
川のほとりで静かに見守っています。

注 平常時での安全度は高いですが、源流に近い川あそびポイントなので、急に増水することがあります。上流の天候には十分注意してください。

カヌー体験

船着場近くではカヌー体験もできます！

尾瀬三郎の碑

悲恋の貴公子「尾瀬三郎」の碑

中荒沢キャンプ場

川沿いの快適なオートキャンプ場

銀の道

現在の国道352号ができるまでは、銀山平と越後の里を結ぶ唯一の街道でした。現在はハイキング道として整備され、駒ノ湯まで行けます。

銀山平温泉「白銀の湯」

日帰り温泉「白銀の湯」
川あそびの後に一風呂どうぞ

中荒沢の万年雪

駐車場から登山道
徒歩40分!!

キャンプ場脇、ブナ林の遊歩道
ヤマネに出会えるかも。

日帰り温泉「かもしかの湯」

半露天風呂。キャンプの人も日帰りの人もどうぞ

川あそび

8. 只見川水系　中ノ岐川

白い岩と青い水。
自然が造りだした夢のような遊び場です。

安全度 △　・・・小学校低学年には危険
大人が同伴し、子ども達から目を離さないでください。

林道を2ｋｍほど歩くと、二岐川の合流部。この付近の300ｍほどの区間は、河床から川岸までが白い凝灰岩のナメになっていて、広々とした明るい場所。しかも川に下りやすい。岩盤上を走る水に体を浸したり、青い淵で潜水したり。岩盤上で日向ぼっこもできる。家族での川遊びにおすすめの場所。
※関係者以外、林道への車での立ち入りはできない。国道から現地へは徒歩でゆく。

二股沢合流部付近

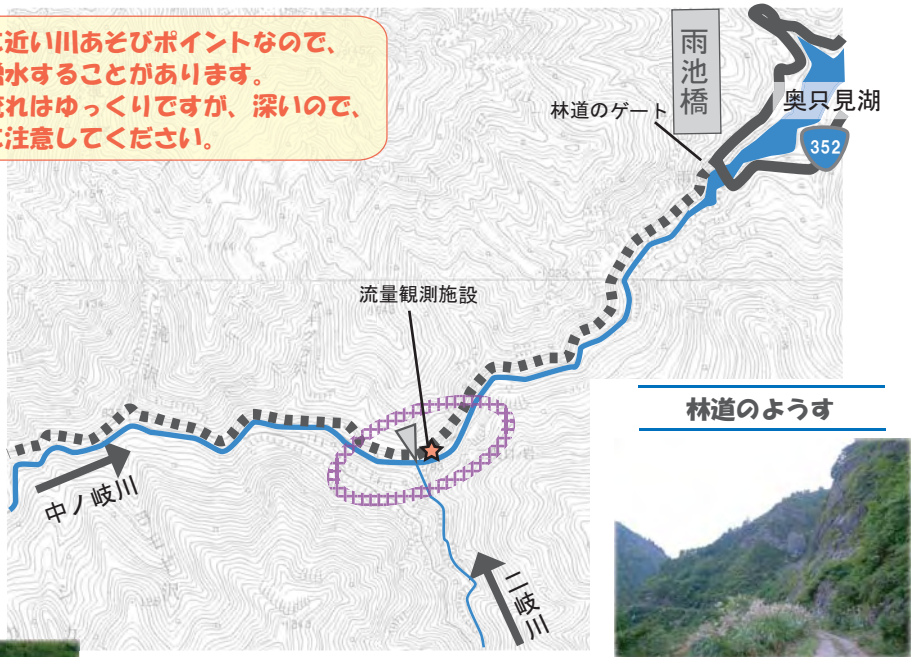
鬼の洗濯岩のような、一面の白い凝灰岩。
岩の上でくつろいだり、水に入ってあそんだり。流れは緩やかです。

プールみたいな淵。潜水してみよう！

合流する二岐川も一面の凝灰岩。
ウォータースライダーみたい。

中ノ岐川　案内地図

注 源流に近い川あそびポイントなので、急に増水することがあります。淵の流れはゆっくりですが、深いので、十分に注意してください。



川あそびポイント
車で通れる道
歩行者が通れる道
P 駐車場
川への降り口

0　1(Km)

林道のようす

大迫力の岩壁を見ながら歩く

林道からみた雨池橋

9. 只見川水系　只見川

大自然の中で楽しむ
川あそびキャンプは最高！

安全度 △　・・・小学校低学年には危険
大人が同伴し、子ども達から目を離さないでください。

ゆったりと流れる明るい川。奥銀山キャンプ場や鷹ノ巣キャンプ場の脇からは手軽に川に入ることができる。水量が多いが、流れの緩やかなところでは家族で遊ぶことができる。ぼんやりと川を眺めているだけでも、楽しい。

写真①　奥銀山キャンプ場付近

美しい渓畔林に囲まれている。川をただ眺めているだけでも楽しい。

写真②　鷹ノ巣キャンプ場付近

下流側には流れの緩やかな場所があって、
潜るのにぴったりな淵がある。

キャンプ場から続く
川沿いの遊歩道

只見川　案内地図